

第5回日本吹奏楽アカデミー賞

演奏部門

トルヴェール・クワルテット 殿

□ 推薦理由

数々のコンクール入賞歴を誇る若手のサクソフォーン奏者4人により結成されたサクソフォーン・クワルテットであり、数多くのコンサートとCD制作には目をみはるものがあります。

また、レパートリーとしてもフランス近代作品から日本の現代作品まで幅広く対応できる技術とその音楽性そして見事なアンサンブルを持っている。

□ 推薦内容

1994年7月22日サントリーホールにて開催されたコンサート「トルヴェールの逆襲」は、その演奏技術の高さのもとより、レパートリーの広さまたその話題性において高い評価があり、サントリーホールを満員にするなど、日本のサクソフォーンアンサンブル界に新風を巻き起こした。



□ プロフィール

1987年6月結成。1989年のデビュー・コンサート以来、各地でコンサートまたレコーディングなどで現在活躍中。

東京国際音楽コンクール(室内楽)において第2位に入賞する。

東芝EMIより「イノセント・ドールズ」をはじめ、数多くのCDを発表。

〈構成メンバー〉

須川展也(ソプラノ・サクソフォーン)

彦坂眞一郎(アルト・サクソフォーン)

新井靖志(テナー・サクソフォーン)

田中靖人(バリトン・サクソフォーン)

第5回日本吹奏楽アカデミー賞

作曲部門

榎田 肤之扶 殿

□ 推薦理由

榎田肤之扶氏の作品は、日本的な作品が数多くあり、その一貫された独特な音楽は、日本人の心に何か郷愁を与えてくれて、若者から大人まで幅広い層の方々から人気を博している。

代表的な作品として、「石の庭」「飛鳥」「雅風断章」他、数多くの作品を作曲している。

□ 推薦内容

1994年度全日本吹奏楽コンクール課題曲「雲のコラージュ」ほか、数多くの作品を作曲。その作風は演奏するものの心をとらえ、その音楽性は非常に高いものがある。また、数多くの委嘱を抱え込んでおり、活躍中である。



□ プロフィール

1935年京都に生まれる。

京都教育大学にて福本正氏に和声・対位法を学ぶ。卒業後、中瀬古和氏・高橋半氏に師事するとともに、グループ「創る会」に参加し、作曲活動を始める。邦楽家の家に生まれ育ったという環境で、作風は伝統的な邦楽を基調にした、日本的あるいは民族主義的な路線をとっている。「石の庭」にて吹奏楽界にデビュー。その後数々の吹奏楽曲を手掛けている。

第5回日本吹奏楽アカデミー賞

研究部門

小澤俊朗 殿



□ 推薦理由

小澤俊朗氏は日本を代表するバンドディレクターとして、吹奏楽の普及および指導法の研究に著しい成果をあげておりこれまでに、数多くのアマチュアバンドを育成するとともに日本の吹奏楽のレベルの向上に多大なる貢献をされております。特に、小澤俊朗氏による吹奏楽のトレーニングシステムをはじめ、吹奏楽における教則本、指導者のための教本他サウンドを追求した理論書等、吹奏楽の研究の分野において活発な活動を行っている。

□ 推薦内容

1994年に東亜音楽社より発行された「ティップス・フォーバンド活用の手引き」「吹奏楽小辞典」は、吹奏楽の現場で大いに役に立ち、吹奏楽愛好者および指導者に大いに貢献しており、「ティップス・フォーバンド」の具体的な活用の仕方を示す手引き書として、バンドで活動する子供達がいつでもどこでも利用できる小辞典として、教育の現場に高く評価されております。

□ プロフィール

1944年千葉県生まれ。トランペットを小川内一彦、和声を兼田敏の各師に師事。トランペット奏者として、日本フィル、東京フィル等で活躍。また東京芸術大学名誉教授の中山富士雄師らと共に、東京プラスソサエティの結成に参加。コンサートマスターを務め、わが国の金管バンドの普及、指導に尽くす。日本楽器（現ヤマハ）講師を経て、銚子商業高校吹奏楽部、神奈川大学吹奏楽部を指導し、全日本吹奏楽コンクールで3度5年連続金賞を成し遂げるなど、バンドディレクターとして数多くの優秀なバンドを育てる。

現在、東京コンセルヴァトゥアール尚美講師、尚美ウィンドオーケストラ指揮者、尚美プリリアントプラス指揮者、東京プリリアントプラス音楽監督、神奈川大学吹奏楽部音楽監督、日本バンドクリニック委員会委員、日本吹奏楽学会常務理事。

第5回日本吹奏楽アカデミー賞

制作部門

* 第5回日本吹奏楽アカデミー賞制作部門表彰者は該当なしと決定致しました。

第5回日本吹奏楽アカデミー賞

啓蒙部門

バンドピープル 殿



□ 推薦理由

1980年より吹奏楽雑誌として発行し、吹奏楽に関する情報を色々な角度から提供し、吹奏楽の啓蒙に大きな貢献を果しております。また、常に時代の流れに応じた編集に力を入れ、若者の興味と関心をつかんだ誌面作りには、目をみはるものがあります。

□ 推薦内容

中・高校生を対象として吹奏楽誌として毎月発行し、若者への吹奏楽における啓蒙活動および普及に努力を重ねている。

□ プロフィール

1980年、4月（創刊号）が同心社より発刊され、それ以後、吹奏楽に携わる中、高校生を対象に情報誌として発行している。記事内容は、吹奏楽におけるテクニック講座をはじめ、コンクール情報また楽器の新製品の情報やコンサート情報他多面にわたって編集している。

現在、発行部数公称7万部。読者数は100万人を越えております。

特別部門

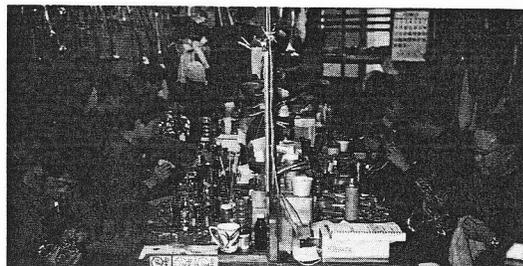
株式会社 石森管楽器

推薦理由

長年にわたり、日本の管楽器修理に力を注ぎ、多くの管楽器奏者の助けとなっており、音楽界および管楽器界の裏方として地道に活躍しているその業績は、非常に価値あるものであります。

推薦内容

終戦後、日本の管楽器修理がまだ混沌としていた時代から現在まで、時代の流れとともにあらゆる世代の管楽器奏者とともにあり、日本の管楽器界と歩んできたその活動は、大いに貢献されております。



プロフィール

日本楽器の前身である日本管楽器を終戦後退職した石森善吉氏により、管楽器修理が始まる。新宿大久保にて開業。その後、昭和62年より現在の新宿百人町において、株式会社石森管楽器として再発足し、現在に至っている。

<過去4回各部門表彰者の記録>

(第1回日本吹奏楽アカデミー賞)

演奏部門

フレデリック・フェネル博士と東京佼成ウインドオーケストラ

作曲部門

故 大 栗 裕

研究部門

根 本 俊 男

制作部門

株式会社 東亜音楽社

啓蒙部門

日本バンド・クリニック委員会

(第2回日本吹奏楽アカデミー賞)

演奏部門

北 爪 利 世

作曲部門

保 科 洋

研究部門

赤 松 文 治

制作部門

岩 井 直 博
東芝EMI株式会社
(財)ヤマハ音楽振興会

(第3回日本吹奏楽アカデミー賞)

演奏部門

東京吹奏楽団

作曲部門

兼 田 敏

研究部門

福 井 一

制作部門

株式会社佼成出版社

啓蒙部門

鈴木 竹 男

(第4回日本吹奏楽アカデミー賞)

演奏部門

大阪市音楽団

作曲部門

伊 藤 康 英

研究部門

—— 該当者なし ——

制作部門

東芝EMI株式会社
A&R第5本部制作1部
株式会社村松フルート製作所

啓蒙部門

—— 該当者なし ——